

## 平成25年度 第2回沼田市子ども・子育て会議 会議録（概要）

### 会議の概要

開催日時	平成26年3月24日（月） 午後1時30分から3時10分
開催場所	沼田市東原庁舎 2階会議室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p><b>【委員】</b> 浅沼委員、○櫛淵委員、後藤委員、◎小林委員、千明委員、中澤委員、庭野委員、長谷川委員、藤岡委員、宮田委員、村松委員、森下委員</p> <p><b>【市関係者】</b> 田村学校教育課長、西山健康課長</p> <p><b>【事務局】</b> 栗原子ども課長、星野保育係長、小池子育て支援係長、大島主査</p> <p><b>【その他】</b> 業務委託者（地域計画株式会社 研究員1名）</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の結果について</li> <li>(2) 今後のスケジュールについて</li> <li>(3) その他                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成支援行動計画進捗状況の検証について</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>5 その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回会議の質問事項について</li> <li>・その他</li> </ul> </li> <li>6 閉 会</li> </ol>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼田市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査結果報告書（第1報）</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> <li>・沼田市次世代育成支援行動計画（後期計画）概要版</li> </ul>

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
会 長	<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 会長あいさつ</b></p> <p><b>3 自己紹介（新委員）</b></p> <p><b>4 議 事</b></p> <p><b>(1)子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の結果について</b></p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>昨年12月に実施したニーズ調査の結果の取りまとめが終わり、調査報告書（第1報）を作成したのでご確認いただきたい。調査の概要については、委託研究員から説明する。</p>
地域計画 研究員	<p>ニーズ調査は昨年12月、就学前児童の保護者1,782人、小学生1年生から3年生までの保護者1,350人を対象にアンケート調査により実施した。就学前児童は郵送による調査を行い888人から返送があり回収率は49.9%、小学生は学校を通じて依頼し回収率97.5%、1,297人からの回答を得た。</p> <p>回収した調査票については国から示された「量の見込み算出等の作業の手引き」に基づき整理し報告書を作成した。今後は、回収したデータからその家族類型を求め、潜在的なニーズを含めた量の見込みを算出することとなる。算出したニーズ量については、次回以降の会議でお示しする予定である。</p>
会 長	<p><b>(2)今後のスケジュールについて</b></p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料「沼田市子ども・子育て会議 今後のスケジュールについて」により説明。</p>
委 員	<p>人口推計や児童人口予測はこれから出てくるのか。</p>
地域計画 研究員	<p>次回の会議で報告する予定である。</p>
委 員	<p>この子ども・子育て会議はニーズ量と受け皿の枠の計画を立てる会議なのか。支援の中身まで考える会議なのか。</p>
事務局	<p>計画には基本的理念等も盛り込まれるが、大きな目的はニーズに対する需給計画である。</p>

発言者	議事の経過及び発言の要旨
委員	沼田市の保育園では、現在、待機児童はいないと聞いている。ニーズ調査の結果より、現在の状況がニーズ量と言えるのではないか。
事務局	現在のところ待機児童はいないが、今後、入園申込みがあった場合には待っていただくこともある状況である。
会長	現在、待機児童がいないのであれば、市の人口の減少傾向も踏まえて、枠を広げることよりも、地域の状況をよく把握して現状を確認しながら計画を進めていくことが必要かと思う。
委員	地域によっては保育園や幼稚園が1つしかない所もあり、地域の子どもが同じ小学校へ上がるということもあって仲間づくりという意味合いから本当の希望とは違っても、子どもを地域の保育園や幼稚園へ入園させる人もいる。地域を今後どうしていくかということも考える必要があるのではないか。
会長	今後、受け皿についての区域の設定ということも協議することになるが、小さな区域で閉鎖的に考えるのではなく、市全体で流動的に考えることが必要となるかもしれない。
事務局	利根町の委員さんにお尋ねしたいが。利根町から他の地域の幼稚園等へ通う例はあるか。
委員	利根町では、あまり聞いたことはないが。
委員	勤務の関係で勤務先近くの保育園や、幼稚園の預かり保育を利用する例はある。
委員	私は次世代の計画から携わっているが、当時から言われていたことは子どもの遊び場の問題で、児童館等の要望が出されていた。今回のアンケートにも要望が出ている。待機児童の問題も大切だが、その他のことにも目を向けてほしい。また、医療や医療機関への要望も出ているので、市の要望として声を上げて医療団体に働きかけてほしい。
会長	この事業は少子化への対策であり、安心して子育てができる環境を整え、子育ての負担を減らして女性の社会進出を促すという意味もあり、趣旨に沿って利用者のための計画を作っていくことでいかがか。

発言者	議事の経過及び発言の要旨
会 長	<p><b>(3) その他</b></p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次世代育成支援行動計画進捗状況の検証について説明させていただく。 この行動計画は平成17年度に策定され、前期、後期、10年にわたる計画で来年度最終年を迎えるものである。この計画については毎年度、次世代育成支援対策地域協議会により進捗状況の検証を行ってきたところであるが、本年3月をもって同協議会委員の任期が満了となる。子ども・子育て支援事業計画には、次世代計画の検証も盛り込むこととなっていることから、協議会委員任期満了後の平成26年度からは、この子ども・子育て会議で検証していただくこととしたい。具体的には、7月頃までに平成25年度実施事業を取りまとめ、子ども・子育て会議で報告しご意見を伺うこととなるので、よろしくお願ひしたい。</p>
委 員	<p>次世代計画の検証が次の子ども・子育て支援計画に生かされることを期待する。ニーズ調査の結果と次世代の検証を別々に考えないで、一緒に考えて生かしてほしい。</p>
会 長	<p><b>5 その他</b></p> <p>前回の会議の際に質問のあった「公立幼稚園の新設計画」について学校教育課長から回答をお願いします。</p>
学校教育 課長	<p>質問にお答えして、今までの経過についてお話ししたい。 市の行財政改革実施方針の中で平成21年に幼稚園の統廃合の検討が出され、平成22年11月、利南地区振興協議会から旧利南中学校の跡地活用について、利南幼稚園と利南東幼稚園を統合した幼稚園を設置したらどうかという要望があった。平成23年度には利南地区の5区長さんによる利南幼稚園と利南東幼稚園の統廃合のための準備委員会が立ち上がり、統廃合に関して、少子化や園舎の老朽化、統廃合のメリット、デメリットなどについて意見がかわされ、公立幼稚園設立の経緯、地元からどのくらいの割合で入園しているか、などを考慮し、一番園舎が古く土地の問題などがある榛名幼稚園も含めて3園の統廃合について検討がされ、平成24年度から25年度にかけて関係地区の区長さん等をメンバーとする沼田市立幼稚園統廃合検討委員会が行われ、平成25年7月、報告書が教育長に提出された。 報告書には、園児数の減少とそれによる教育効果の課題、園舎の老朽化と財政負担の軽減の観点から、将来的には統合はやむをえないだろうということ、幼稚園の統廃合は単なる経費節減だけでなく将来の沼田市を担う</p>

発言者	議事の経過及び発言の要旨
	<p>子どもたちの健やかな成長を踏まえたものであること、幼児教育の充実という面からも考えていかなければならないだろうということ、沼田市の公立幼稚園は台地にある私立幼稚園を補完するよう開設されたという経緯があり台地周辺の幼児教育のニーズに応え幼児教育を充実するということから、利南幼稚園、利南東幼稚園、榛名幼稚園を統合して、利南地区に統合した一つの幼稚園を造ったらどうかということが記載され、教育委員会は、この報告書をもとに公立幼稚園の統廃合について市の行政改革推進本部に諮ったところ、子ども・子育て新制度の計画との整合性を図りながら今後とも検討していくべきであろうという話をいただいている。今後は沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会で関係者からご意見をいただき、検討を進めていく予定であることを報告する。</p> <p><b>5 閉 会</b></p>